

取手市議会会派公明党 視察行程

○7月23日(火)

※JR取手駅西口改札 午前7時45集合【時間厳守】

取手駅………上野駅…(やまびこ43号)…北上駅…(レツカー)…オガール紫波…(昼食)
7:54 発 8:37 着 8:54 発 11:46 着 12:00 発 13:00 着

オガール紫波視察研修…オガールイン
(視察 14:00～16:10) (宿泊)

・岩手県紫波町 オガール紫波

住所：岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2-3-3

電話：019-681-1316

研修事項

オガール標準コース

(都市再開発事業、公民連携による公共施設整備と町づくり)

- ・オガール紫波(株)の概要
- ・オガールプラザ・ベース・タウンの概要
- ・エリア内視察

【宿 泊】

・オガールイン

住所 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2-3-12

TEL 019-681-1256

1.2.3.4

取手市議会会派公明党 視察行程

○7月24日(水)

ホテル…(レンタカー)…遠野市…(昼食)…遠野みらい創りカレッジ…(レンタカー)

10:00 発 12:00 着 (視察 13:00～15:00)

…北上駅…(はやぶさ 110 号)…上野駅…(常磐線)…取手駅

16:00 着 16:30 発 18:50 着 19:08 発 19:51 着

①遠野みらい創りカレッジ

住所：岩手県遠野市土淵町土淵4-21-6

電話：0198-60-1276

研修事項

遠野みらい創りカレッジの取り組みについて

- ・閉校校舎の活用事例
- ・民間企業との地域活性化の経緯と事例
- ・「ふれあうように学ぶ場」具体的事例
- ・産官学民の連携による新たな価値を創造について、成果と今後の目標や課題
- ・富士ゼロックスが保有するコミュニケーション技術と、その活用方法

「全国地方議会サミット2019 チーム議会が地域をより良くする」

【日 時】 2019年8月1日（木）13：00～17：30
2019年8月2日（金）09：30～16：00

【場 所】 東京ビッグサイト 7階国際会議場（東京都江東区有明三丁目11-1）

■ 1日目：8月1日（木）13:00-17:30

13：00～ 【基調講演】「なぜ今“チーム議会”が必要なのか」

北川 正恭 氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

13：20～ 【パネルディスカッション】「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」

江藤 俊昭 氏（山梨学院大学教授）

杉田 淳 氏（NHK報道局選挙プロジェクト副部長）

久保 隆 氏（NHK報道局選挙プロジェクト記者）

14：20～ 【パネルディスカッション】「チーム議会に職員だからできること」

清水 克士 氏（滋賀県大津市議会局次長）

小原 昌江 氏（岩手県北上市議会事務局議事課長）

岩崎 弘宜 氏（茨城県取手市議会事務局次長）

小林 宏子 氏（東京都羽村市議会事務局長）

15：35～ 【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その1）」

松田 崇義 氏（株式会社メディアドゥ smart書記事業部長）

16：20～ 【講演】「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」

片山 善博 氏（早稲田大学教授、元総務大臣）

17：20～ 【総括】

北川 正恭 氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）

< 周辺 お 食 事 処 >



有明パークビル

レストラン 12店舗

デイリーヤマザキ

TFTビル

レストラン 17店舗

セブンイレブン、ミニストップ

東京ビッグサイト

レストラン 9店舗

ローソン、セブンイレブン

「全国地方議会サミット2019 チーム議会が地域をより良くする」

■ 2日目：8月2日（金）9:30-16:00

9：30～【先進事例報告】「チーム議会の実践と課題」

千葉 茂明氏（月刊「ガバナンス」編集長）
早苗 豊氏（北海道芽室町議会議長）
諸岡 覚氏（三重県四日市市議会議長）
梅村 均氏（愛知県岩倉市議会議長）

10：30～【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から首長との関係を考える」

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）
谷畑 英吾氏（滋賀県湖南市長）
越田 謙治郎氏（兵庫県川西市市長）
上村 崇氏（京都府京田辺市長）

12：20～【先進事例報告】「チーム議会の視点から選挙のあり方考える」

中村 健氏（早稲田大学マニフェスト研究所事務局長）
則武 宣弘氏（公明党岡山市議団）
中原 淑子氏（公明党岡山市議団）
林 敏宏氏（公明党岡山市議団）

13：00～【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その2）」

米田 英輝氏（東京インタープレイ株式会社代表取締役）

13：40～【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から市民との関係を考える」

佐藤 淳氏（青森中央学院大学准教授）
瀧野 良枝氏（長野県飯綱町議会議員、元飯綱町議会政策サポーター）
竹下 修平氏（愛知県新城市議会議員、元新城市若者議会議長）
原口 佐知子氏（静岡県牧之原市 市民ファシリテーター）
田口 裕斗氏（岐阜県可児市議会高校生議会、現立命館大学3年）

14：45～【パネルディスカッション】「国会は地方議会をどう見ているか」

石破 茂氏（自由民主党衆議院議員、元地方創生担当大臣）
稲津 久氏（公明党衆議院議員、党地方議会局長）
逢坂 誠二氏（立憲民主党衆議院議員、元ニセコ町長）
廣瀬 克哉氏（法政大学教授）

15:45～【総括】

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）



資料はこちら。
ユーザー名のみ
「summit2019」

終了後、アンケート
へのご協力をお願い
します→



遠野市と富士ゼロックス(株)の協定により開校「ふれあうように学ぶ場」

遠野みらい創りカレッジ



「遠野みらい創りカレッジ」とは、遠野市と富士ゼロックス株式会社が協働で行なう地域振興のための活動で、遠野はもとより全国共通の地域課題解決と地域創生へつなげる新たな価値づくり・仕組みづくりを目指しています。

中学校再編により平成25年3月に閉校（最終生徒数49名）となった中学校校舎（旧土淵中学校）を最小限の改修によって研修施設として活用し、さまざまな立場の人や知恵が集う「場」を創出。地域資源を活用し地域住民と企業・団体、大学、自治体などの連携を促すプログラムの企画運営や活動支援を行なっています。

設立の経緯

遠野市は、内陸と沿岸の中間地点にあり双方に通じる道路網が整備され、古くから交通の要衝として『遠野物語』に代表される独自の文化が形成されてきました。東日本大震災の発生時には甚大な被害のあった沿岸地域の後方支援拠点として役割を果たしてきましたが、市庁舎が全壊するなど自身もまた被災地であり、また震災により地域課題が加速化。少子化による中学校再編や空き校舎の活用など地域活性化のための取組が急務となっていました。

富士ゼロックス社では、地域と密着したCSR活動に力を入れており、震災から岩手県に拠点を置いた復興支援を展開する中で、より「顔の見える」復興支援と被災地だけでない地方が抱える課題へのアプローチを模索してきました。その中で沿岸部での後方支援に成果を挙げた遠野市に着目し、市に働きかけ、社員と遠野市地域住民との交流事業を行なってきました。

そこで両者はこの活動を深化させ、空き校舎を活用した地域課題解決やみらい創りのための人材育成・情報発信事業を展開することを地域住民との対話を重ねながら検討を進め、平成26年4月8日協定運営による「遠野みらい創りカレッジ」の開校に至りました。

- 2012年
 - 11月 富士ゼロックス社員と地域住民による研修「みらい創りキャンプ※」開始
※以降冬・春・夏・秋・冬 継続実施
- 2013年
 - 2月 遠野市「中学校再編成後における学校施設等活用事業案」公表
 - 4月 富士ゼロックス新入社員研修実施
 - 5月 閉校活用提案 ①[地域連携による学びの拠点づくり(みらい創りラボ)]
 - 7月 「遠野民俗学大学院構想による地域再生計画」採択
 - 8月 閉校活用提案 ②[地域連携による学びの拠点づくり(カレッジ)]
 - 11月 みらい創りカレッジ構築協同プロジェクト開始
- 2014年
 - 4月 遠野みらい創りカレッジ開校
- 2016年
 - 4月 一般社団法人遠野みらい創りカレッジ設立（一般社団法人化）
- 2017年
 - 2月 テレワークセンター開設（サテライトオフィス・コワーキングスペース）
 - 5月 五日市マルシェ開催（地域主催イベントの支援）

